



2026年2月13日

各位

会社名 ナイル株式会社
代表者 代表取締役社長 高橋 飛翔
(コード番号：5618 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 コーポレート本部本部長 長澤 斉
(TEL 03-6682-9692)

2025年12月期通期業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2025年8月13日に公表した2025年12月期の通期業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおり、お知らせいたします。

1. 業績予想と実績との差異について

2025年12月期通期業績予想との差異（2025年1月1日～2025年12月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	6,450～6,950	△180～ 80	△210～ 55	△225～ 40	△26.35円～ 4.68円
実績値 (B)	6,730	△105	△142	△152	△17.87円
増減額 (B-A)	280～ △220	75～ △185	68～ △197	73～ △192	8.48円～ △22.55円
増減率 (%)	4.3%～ △3.2%	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (2024年12月期)	5,465	△677	△695	△703	△82.38円

2. 差異の理由

2025年12月期の通期業績予想につきましては、2025年8月13日付「通期連結業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ」のとおり外部要因に左右される事項も多いためレンジ形式にて開示しておりました。売上高につきましては想定通りにレンジ内にて着地いたしました。利益項目（営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益）につきましては、実績値が前回公表した予想レンジの下限値と比較して30%以上乖離（損失幅が縮小）いたしました。この結果、東京証券取引所が定める業績予想と実績値との差異の開示基準に該当するため、お知らせいたします。

各事業におきましては、自動車産業DX事業において、連結子会社化した株式会社パティオのPMI進展や顧客獲得効率の改善が奏功し、第4四半期連結会計期間でのセグメント黒字化を達成しました。また、水平DX事業においては、顧客ニーズに即した提供価値のアップデートを継続したことにより、営業利益での増益を確保いたしました。

この結果、当連結会計年度の売上高は6,730百万円（前年同期比23.1%増）、営業損失は105百万円（前年同期は営業損失677百万円）となり、前連結会計年度と比較して大幅な増収及び赤字幅の縮小となりました。

以上